



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 NOK株式会社

コード番号 7240 URL <http://www.nok.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 鶴 正登

問合せ先責任者 (役職名) 企画部 部長

(氏名) 富永 利夫

TEL 03-3434-1736

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	238,559	△4.2	13,312	△28.5	13,792	△20.4	6,907	△30.6
23年3月期第2四半期	249,130	40.5	18,613	—	17,324	—	9,946	—

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 3,535百万円 (16.7%) 23年3月期第2四半期 3,028百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	40.22	—
23年3月期第2四半期	58.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第2四半期	520,346		264,330		46.6
23年3月期	525,553		262,484		45.9

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 242,388百万円 23年3月期 241,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50			
24年3月期(予想)			—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	494,600	△0.9	28,100	△20.0	29,400	△9.3	15,800	△5.3	91.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	173,138,537 株	23年3月期	173,138,537 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,310,925 株	23年3月期	1,482,218 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	171,733,258 株	23年3月期2Q	171,427,214 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 平成24年3月期の期末配当につきましては、現時点では未定であります。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生しました東日本大震災によるサプライチェーンの寸断から急速に回復しましたが、欧州の金融不安や米国経済の減速、および円高の長期化等により先行きが不透明な状況が続いています。

自動車業界は、国内においては東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断から生産が急速に回復しましたが、前半の落ち込みが大きく、自動車生産台数は前年に比べ大幅な減少となりました。海外においては引き続きインド・中国等の新興国による需要は好調であったものの、その勢いは鈍化しており、生産台数は前年並みとなりました。

電子機器業界は、スマートフォンやタブレット型パソコンの需要増加に加えて、デジタルカメラ、パソコン等の電子機器の需要も好調に推移しました。また生産面におきましても東日本大震災後の復旧が進み、生産が増加しました。

事務機業界は、東日本大震災の影響から復旧し、緩やかな回復基調が続きましたが、欧州の経済状況等から複写機の販売が減少し、後半より減速しました。

このような状況のもと、当社のセグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間よりハードディスクドライブ(HDD)用樹脂部品を主に生産しているプレジジョンコンポーネント事業部を、NOK株式会社から子会社である日本メクトロン株式会社に移管しております。これに伴い、従来のフレキシブル基板(FPC)事業というセグメント名称を電子機器部品事業という名称に変更し、従来シール事業であった当該事業に係る業績を、電子機器部品事業にセグメント区分を変更しております。前期との比較につきましては、変更後の区分に組み替えて行っております。

シール事業におきましては、第2四半期に入り、国内では東日本大震災の影響により低迷していた自動車需要が回復しましたが、第1四半期における減産の影響が大きく、販売が減少しました。その結果、売上高は1,259億1千7百万円（前年同期比1.3%の減収）となりました。営業利益は販売の減少等により、119億8千2百万円（前年同期比2.7%の減益）となりました。

電子機器部品事業におきましては、スマートフォン向けやタブレット型パソコン向けの需要が好調であったため販売が増加しましたが、従来型の携帯電話向けが国内、海外ともに低調に推移しました。また、デジタルミュージックプレーヤー等の需要減少や、急激な円高の影響を受け、売上は減収となりました。その結果、売上高は908億5千5百万円（前年同期比7.1%の減収）となりました。営業利益は販売の減少、および為替影響等により、11億8千6百万円（前年同期比80.4%の減益）となりました。

ロール事業におきましては、補修品の需要回復がありましたが、東日本大震災による影響が大きく、販売が減少しました。その結果、売上高は151億2千5百万円（前年同期比11.7%の減収）となりました。営業損失は販売の減少、および為替影響等により、3億4千5百万円（前年同期は1億9千7百万円の営業損失）となりました。

特殊潤滑剤等のその他事業は、東日本大震災による影響はあったものの、自動車等の需要回復により、売上高は66億6千万円（前年同期比1.4%の増収）となりました。営業利益は、増収等の理由により、4億5千万円（前年同期比15.7%の増益）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は2,385億5千9百万円（前年同期比4.2%の減収）、営業利益は133億1千2百万円（前年同期比28.5%の減益）、経常利益は137億9千2百万円（前年同期比20.4%の減益）、四半期純利益は69億7百万円（前年同期比30.6%の減益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、借入金返済に伴う現預金の減少等により、前期末比52億7百万円減の5,203億4千6百万円となりました。

負債は、長期借入金の返済等により、前期末比70億5千3百万円減の2,560億1千5百万円となりました。

純資産は、株式市況の悪化に伴うその他有価証券評価差額金の減少があったものの、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加により、18億4千6百万円増の2,643億3千万円となり、自己資本比率は46.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、タイ国で発生しました洪水による影響や長引く円高、世界景気の減速感等、厳しい経営環境が続くと見込まれるため、前回予想値を下記のとおり修正しております。

平成24年3月期通期連結業績予想値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	511,000	35,200	37,800	22,100	128.36
今回修正予想 (B)	494,600	28,100	29,400	15,800	91.97
増減額 (B - A)	△16,400	△7,100	△8,400	△6,300	—
増減率 (%)	△3.2	△20.2	△22.2	△28.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	498,932	35,134	32,426	16,685	97.29

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、一部の連結子会社は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,703	77,598
受取手形及び売掛金	124,623	129,301
たな卸資産	53,223	55,304
その他	17,823	21,672
貸倒引当金	△948	△801
流動資産合計	281,426	283,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	66,465	64,163
機械装置及び運搬具(純額)	61,020	59,303
その他(純額)	29,641	30,700
有形固定資産合計	157,127	154,168
無形固定資産		
のれん	206	164
その他	1,108	1,092
無形固定資産合計	1,314	1,257
投資その他の資産		
投資有価証券	59,089	52,801
その他	26,816	29,287
貸倒引当金	△220	△243
投資その他の資産合計	85,685	81,844
固定資産合計	244,127	237,270
資産合計	525,553	520,346

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,552	51,942
短期借入金	46,659	49,584
未払法人税等	5,339	3,999
賞与引当金	8,522	9,426
事業構造改善引当金	346	308
災害損失引当金	1,463	857
その他	41,301	41,666
流動負債合計	154,185	157,786
固定負債		
長期借入金	58,885	48,754
退職給付引当金	45,496	44,911
その他	4,501	4,563
固定負債合計	108,883	98,229
負債合計	263,069	256,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	22,450	22,450
利益剰余金	206,956	212,577
自己株式	△1,845	△1,627
株主資本合計	250,897	256,735
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,228	9,904
為替換算調整勘定	△24,012	△24,251
その他の包括利益累計額合計	△9,784	△14,347
少数株主持分	21,371	21,942
純資産合計	262,484	264,330
負債純資産合計	525,553	520,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	249,130	238,559
売上原価	200,613	194,814
売上総利益	48,516	43,745
販売費及び一般管理費	29,902	30,432
営業利益	18,613	13,312
営業外収益		
受取配当金	320	353
持分法による投資利益	2,016	1,833
その他	1,280	1,804
営業外収益合計	3,617	3,991
営業外費用		
支払利息	1,840	1,346
為替差損	2,732	1,988
その他	333	177
営業外費用合計	4,906	3,512
経常利益	17,324	13,792
特別利益		
固定資産売却益	99	90
その他	123	42
特別利益合計	222	132
特別損失		
固定資産除却損	334	194
その他	127	80
特別損失合計	461	275
税金等調整前四半期純利益	17,084	13,650
法人税等	5,377	5,400
少数株主損益調整前四半期純利益	11,707	8,249
少数株主利益	1,761	1,341
四半期純利益	9,946	6,907

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,707	8,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,391	△4,320
為替換算調整勘定	△3,591	△474
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,695	80
その他の包括利益合計	△8,678	△4,713
四半期包括利益	3,028	3,535
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,672	2,209
少数株主に係る四半期包括利益	1,356	1,326

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 : 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	フレキシブル 基板事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	135,156	90,267	17,139	6,565	249,130	—	249,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,630	1,478	—	325	5,434	(5,434)	—
計	138,787	91,746	17,139	6,891	254,564	(5,434)	249,130
セグメント利益又はセグメント損失(△)	13,870	4,513	△197	389	18,575	38	18,613

(注) 1. セグメント利益の調整額 38百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子機器 部品事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	125,917	90,855	15,125	6,660	238,559	—	238,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,655	11	—	349	2,016	(2,016)	—
計	127,572	90,867	15,125	7,010	240,576	(2,016)	238,559
セグメント利益又はセグメント損失(△)	11,982	1,186	△345	450	13,273	39	13,312

(注) 1. セグメント利益の調整額 39百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメント変更等に関する事項

P.2「連結経営成績に関する定性的情報」に記載の通り、当第1四半期連結会計期間よりハードディスクドライブ(HDD)用樹脂部品を主に生産しているプレジジョンコンポーネント事業部を、NOK株式会社から子会社である日本メクトロン株式会社に移管しております。これに伴い、従来のフレキシブル基板(FPC)事業というセグメント名称を電子機器部品事業という名称に変更し、従来シール事業であった当該事業に係る業績を、電子機器部品事業にセグメント区分を変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分方法により区分すると次の通りであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	シール事業	電子機器 部品事業	ロール事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	127,595	97,829	17,139	6,565	249,130	—	249,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,585	—	—	325	1,911	(1,911)	—
計	129,180	97,829	17,139	6,891	251,041	(1,911)	249,130
セグメント利益又はセグメント損失(△)	12,310	6,063	△197	389	18,566	47	18,613

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。